

■中南米：エンデサ、2014年に中南米地域で14億ユーロの設備投資を計画

スペインの大手エネルギー事業者エンデサ（イタリア・エネルの子会社）は2014年3月12日、2014～2018年の経営戦略計画を発表した。この中で、中南米での設備投資額は2014年14億ユーロ、2016年15億ユーロとなっている。これはスペインとポルトガルでの投資額（2014年：6億ユーロ、2016年：8億ユーロ）の2倍以上となる。需要電力については、2018年まで年平均増加率を4.2%と想定している。発電部門では、天然ガス発電所を建設し、発電コストを2018年までに2013年比15%引き下げるとしており、チリとコロンビアに新たにガス火力発電所（計83万kW）の建設が計画されている。配電部門では、ブラジルを重点国として中南米全体で顧客を年間約40万軒増やすとともに、1軒当たりの配電コストを2018年までに2013年比6%引き下げるとしている。なお、エンデサは、チリ、ブラジル、コロンビア、ペルー、アルゼンチンの南米5カ国と中米諸国で事業を展開している。2013年末時点で所有・運転する発電設備は約1,600万kW（スペイン・ポルトガルには2,230万kW）、2013年の年間発電電力量は619億kWhである（スペインとポルトガルでは、年間発電電力量705億kWh）